

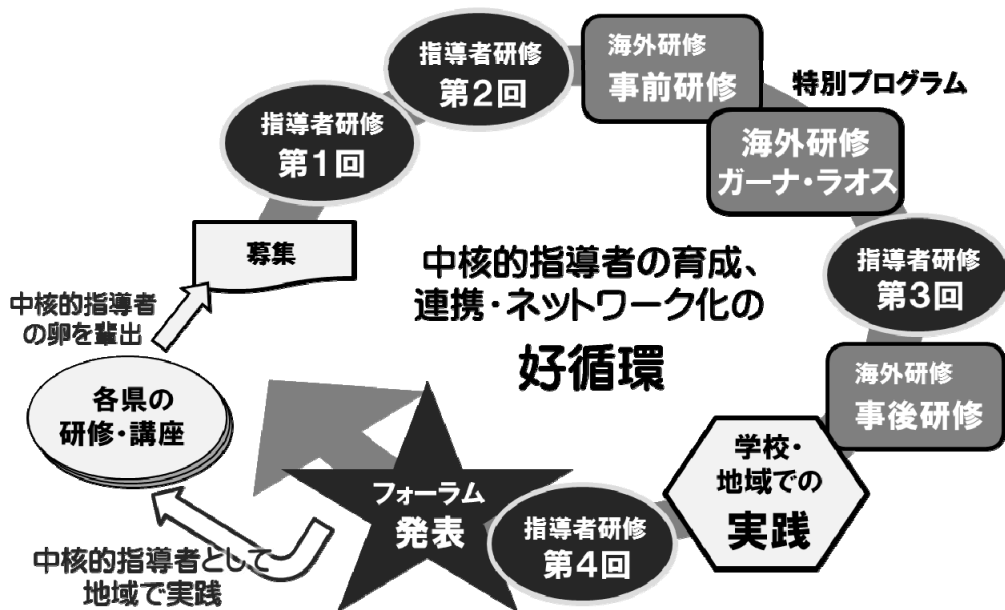
I 開発教育指導者研修の概要

■ 開発教育指導者研修の目的

独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」）は、開発途上国の現状や日本との関係に関する「知見の還元」および自分に何が出来るかを「考える機会の提供」、地域における「橋渡し役」に重点を置いた開発教育支援を実施している。JICAの国内機関である中部国際センター（以下、「JICA 中部」）は、中部地域（愛知・岐阜・三重・静岡）における開発教育支援として、①JICAが直接受け手に対して指導等行うもの（国際協力出前講座、JICA 施設訪問プログラム等）と、②開発教育に取り組む担い手を育成するもの（教師海外研修、開発教育指導者研修）を実施している。特に、指導者育成の事業においては、①初めて開発教育に取り組む人材を対象とした開発教育指導者研修（初級編）と、②より中核的な指導者となることが期待される人材を対象とした開発教育指導者研修（実践編）、教師海外研修を実施し、それぞれの事業を有機的に結びつけることにより相乗効果の拡大を図っている。

このうち、開発教育指導者研修（実践編）および同研修の特別プログラムである教師海外研修は、中部地域における開発教育の中核的な指導者を育成すること、かつ指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的として、①開発教育の理論や具体的な教材事例、参加型学習の理論および実践方法（ファシリテーション）等の指導法の体系的な学習、あるいは②実際の開発途上国への訪問による開発途上国の実情および日本の国際協力の状況に対する理解の促進および教育材料の収集等のための研修を実施している。

また、研修受講者は、学校・地域等における教育現場において自主的に開発教育を展開する他、JICAの開発教育指導者研修（初級編）において指導を行うなど、地域の開発教育の中核的存在となることが期待されている。



開発教育指導者研修・教師海外研修プログラムの「学びの好循環」

■ 「実践編」の概要

- (1) 日時 第1回 平成26年6月14日(土) 13:00~17:00 -15日(日) 10:00~15:00
 第2回 平成26年7月19日(土) 13:00~17:00 -20日(日) 10:00~15:00
 第3回 平成26年8月23日(土) 13:00~17:00 -24日(日) 10:00~17:00
 第4回 平成27年2月 7日(土) 10:00~18:00
 実践報告フォーラム 平成27年2月 8日(日) 10:00~16:30
- (2) 場所 JICA 中部 なごや地球ひろばセミナールーム
- (3) 対象 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、教育委員会、自治体関係者、NPO/NGO、JICA ボランティア OB/OG など
- (4) 企画・運営(委託) (特活) NIED・国際理解教育センター
- (5) 後援 愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会
- (6) 参加者数 43名(うち19名は教師海外研修参加者)、他JICAスタッフ等も参加
 実践報告フォーラム:144名(一般参加者)
- (7) 参加費 無料
- (8) 講師 (特活) NIED・国際理解教育センター代表 伊沢令子
- (9) 内容 テーマ、ねらい、プログラムは、次のとおりである。

テーマ「ESD(持続可能な開発のための教育)とグローバル人材」

- 開発教育・国際理解教育の目的・内容・進め方と、ESDを始めとする他の教育との関連性を理解する。
- 「知り・考え・気づく」場の提供と、「自己肯定感」「コミュニケーション力」「参加・協力」の力を育てることを通して、人の行動変容を支える「参加型」についての理解を深め、習熟する。
- 人がよりよく学び、よりよく変わることに寄り添う「ファシリテーターの役割」とそのための手立てを確認し、習熟する
- 3回までに学んだことを基に、各自の現場で「開発教育/国際理解教育」プログラムを実践し、その成果と課題を第4回に持ち寄り共有し、よりよい質の教育(BQOE※)につなぐ。
- 1年間に及ぶ本研修の成果を、仲間と共に一般の人々に向けてフォーラムで発表することを通して、次なる担い手を増やし、「学びの好循環」を作る。

◆ 第1回:『開発教育・国際理解教育のめざすもの』 ※BQOE…Better Quality of Education

- ① 研修の全体像を理解し、各自の参加の目的をふりかえり、共に学び合う仲間同士知り合う。
- ② グローバル化した世界の現状と、当該教育の必要性を確認・共有する。
- ③ 当該教育が、価値観を育てる教育であること、行動変容を支える教育であること、そのための参加型の教育であることについての理解を深める。

◆ 第2回:『開発教育・国際理解教育にできること』

- ① 持続可能なよりよい未来につながるテーマを、自分事として考えるための学び方を学ぶ。
- ② 「関わる力」の育成に「参加型の学び」がどう役立つのか、体験的に確認する。
- ③ 「知り・考え・気づき・動く」をつなぐ学びの意義を理解し、自らの教育観をふりかえる。

◆ 第3回：『開発教育・国際理解教育のすすめかた』

- ① 多様な視点から考えること、気づきと築きを促すことに役立つ参加型手法について習熟する。
- ② アクティビティを活かした流れのあるプログラムを実際に作ってみる。
- ③ ファシリテーション実践を通して、参加型とファシリテーターのポイントを確認し持ち帰る。
- ④ 教師海外研修受講者の学びと気づきを共有し、ガーナとラオスに近づく。

◆ 第4回 『開発教育・国際理解教育をつなげよう』

- ① 第3回以降、研修での学びを基にした各自の実践を共有する。
- ② 1年間を通じた研修の成果を共にふりかえる。
- ③ 研修成果と実践を一般市民に向けて参加型で提供し、次へとつなぐ準備を行う。

◆ 開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム『ヒントが見つかる！仲間に出会える！』

- ① 【受講者】実践報告、モデルプログラムのファシリテートと参加者との意見交換を通して、実践の自己確認、総括を行い、ネクストステップへの意欲を高める。
- ② 【参加者】実践者の成果と課題を共有し、自らの実践のヒントとネットワークを得てもらう。
- ③ 【主催者】国際理解教育・開発教育を推進し、研修事業の次の参加者を広げる。

■ 「初級編 (愛知県)」の概要

- (1) 事業名 国際理解教育セミナーin なごや 2015
- (2) 日時 平成 27 年 1 月 31 日 (土) 10:00~17:30
- (3) 場所 (公財) 愛知県国際交流協会
- (4) 主催 国際理解教育セミナーin なごや 実行委員会
(構成団体：(公財) 愛知県国際交流協会、JICA 中部、(特活) 名古屋 NGO センター、
(公財) 名古屋国際センター、(特活) NIED・国際理解教育センター)
- (5) 参加者 105 名
- (6) 参加費 小・中・高校生 500 円、大学生以上一般 800 円
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり (各時間選択制)

テーマ：よりよい未来のつくり方ワークショップまつり

～ネクストステップ ESD★わたしが変わる、世界が変わる～

午前の部 : ありのままのわたしって? (企画: 名古屋 NGO センター)

感じる環境 (企画: NIED・国際理解教育センター)

理想の学校づくり (企画: JICA 中部)

世界の SOS に耳を傾けよう! ~本当にわかってる? 世界の課題~ (企画: 愛知県国際交流協会)

午後の部 : あなたが「シェア」するもの (企画: 名古屋 NGO センター)

考える環境 (企画: NIED・国際理解教育センター)

しあわせクッキング★わたし・あなた・みんなのために (企画: JICA 中部)

世界の SOS に耳を傾けよう! ~わたしたちだって世界を変えられる!~ (企画: 愛知県国際交流協会)

もっと広げる! 国理ワークショップの取り入れ方を考える (企画: 名古屋国際センター)

全体会・交流会

■ 「初級編 (岐阜県)」の概要

- (1) 事業名 開発教育指導者研修初級編 (岐阜県)
岐阜県総合教育センター「国際理解教育講座」
- (2) 日時 平成 26 年 8 月 21 日 (木) 9:30~16:00
- (3) 場所 岐阜県総合教育センター
- (4) 共催 岐阜県教育委員会
- (5) 参加者 23 名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

テーマ：「国際理解教育講座 ～実践に学び、実践に生かすために～」

- ① 講義Ⅰ「青年海外協力隊経験 (ウズベキスタン派遣) の活用方法」～JICA ボランティア体験談～
講師：岐阜県立大垣工業高等学校 教諭 竹中 初男
- ② 講義Ⅱ 「参加型手法の授業への活用方法」～JICA 教師海外研修 (ラオス) を通じて～
講師：名古屋市立田代小学校 教諭 籠谷 美紀
- ③ JICA よりお知らせ
- ④ 国際理解教育ワークショップ ― 今、必要とされるグローバル人材育成とは? ―
講師：(特活) NIED・国際理解教育センター 平野 木恵
- ⑤ 研修まとめ

■ 「初級編 (三重県)」の概要

- (1) 事業名 「実践に学ぶ 国際理解教育研修」～多文化共生の学校・地域づくり～
平成 26 年度開発教育指導者研修 in 三重 (初級編)
- (2) 日時 平成 26 年 8 月 26 日 (火) 13:30~16:30
- (3) 場所 三重県松阪庁舎 6 階大会議室
- (4) 主催 三重県、三重県教育委員会、JICA 中部
〔平成 26 年度国際理解教育研修〕(三重県環境生活部多文化共生課)、
〔三重県総合教育センター研修〕(三重県教育委員会) との協働事業)
- (5) 参加者 39 名
- (6) 参加費 無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

テーマ：「今日から使える！国際理解のススメ」

- ① 教師海外研修体験談～ガーナの今を見つめる～
- ② アイスブレイキング
- ③ ワークショップ1「オレのすること、できること」講師：三重県海星高等学校 教諭 小林 一憲
- ④ ワークショップ2「学校に行きたくない?」講師：岐阜市立境川中学校 教諭 割石裕美子
- ⑤ 振り返り・質疑応答
- ⑥ JICA 三重県デスクからの事業案内

■ 「初級編 (静岡県浜松)」の概要

- (1) 事業名 ① ステキ・おいしいから世界とつながる
 ② 国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座 2014 (全4回連続講座)
- (2) 日時 ① 平成26年7月27日(日) 13:00~16:30
 第1回;平成26年9月28日(日) 13:00~17:00
 第2回;平成26年10月26日(日) 13:00~17:00
 第3回;平成26年11月8日(日) 13:00~17:00
 第4回;平成26年11月30日(日) 13:00~17:00
- (3) 場所 ①② クリエイト浜松 ((公財) 浜松国際交流協会)
- (4) 主催 ①② JICA 中部、(公財) 浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット
- (5) 参加者 ① 41名
 ② 第1回 25名、第2回 18名、第3回 17名、第4回 17名
- (6) 参加費 ① 一般600円 学生・HICE 会員500円
 ② 各回500円 (初回まとめて4回申込みの場合1,500円) *学生、HICE 会員無料
- (7) 内容 テーマ、プログラムは以下のとおり

- ① 講演「私を変えたルワンダバスケット」
 講師：(株)Ruise B 代表取締役 小澤里恵氏
 試食・講演「Honey Coco sweets」
 ワークショップ「世界ではばたく人とは」
- ② 第1回：『多文化共生』と『参加型学習』とは？
 第2回：『食』と『環境』
 第3回：『貧困』と『幸せ』/ファシリテーションスキル
 第4回：ワークショップづくりと実践